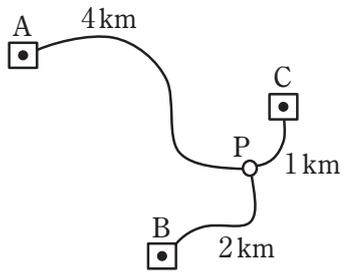


[例題1] 図のように、三つの水準点A～Cから点Pの標高を求めるため直接水準測量を行い、表のような結果を得た。点Pの標高の最確値はいくらか。



| 水準点 | 点Pの測定値 [m] | 点Pとの距離 [km] |
|-----|---------------|----------------|
| A | 12.416 | 4 |
| B | 12.412 | 2 |
| C | 12.425 | 1 |

1. 12.418m
2. 12.419m
3. 12.420m
4. 12.421m
5. 12.422m

正答番号：3

[例題2] 農道の路床に関する次の記述のA～Eに当てはまるものの組合せとして妥当なのはどれか。

路床は、舗装（路盤を含む）の最下面から下の部分で、盛土区間では□ A □ から下の、切土区間では掘削した面から下の、深さ約1mの土の部分の指し、舗装と一体となって交通荷重を支持し、路体に対して交通荷重をほぼ一定に分散する役割をもつ。なお、軟弱な路床を改良するため路床の一部又は全てを良質な材料で□ B □ 層や、石灰・セメント□ C □ で□ C □ 層、あるいは、寒冷地における凍上抑制層などは路床に含まれる。

路床土の良否は、その上部に設ける舗装の厚さに大きな影響を与える。このため、その土質の判定に当たっては十分な検討が必要であり、一般に物理的性質（□ D □、粒度、比重、コンシステンシーなど）及び力学的性質（□ E □、地盤係数など）を明らかにするための土質試験を行う。その結果や施工事例などの資料を参考にして、路床土としての適否や路床改良方法を決定する。

| A | B | C | D | E |
|-----------|--------|--------|-----|-----|
| 1. 基礎地盤面 | 置き換えた | 安定処理した | CBR | 含水量 |
| 2. 基礎地盤面 | 安定処理した | 置き換えた | 含水量 | CBR |
| 3. 盛土仕上り面 | 置き換えた | 安定処理した | CBR | 含水量 |
| 4. 盛土仕上り面 | 置き換えた | 安定処理した | 含水量 | CBR |
| 5. 盛土仕上り面 | 安定処理した | 置き換えた | 含水量 | CBR |